



ほうさ 第6号

1981年4月
名古屋市蓬左文庫
Nagoyashi Hôsabunko

展 示 室 よ り

「名古屋叢書三編」刊行記念 尾張史料展

第一部（名古屋叢書収録資料） 4. 4(土)～5. 31(日)

第二部（尾張文人の編著） 6. 6(土)～7. 26(日)

蓬左文庫は、さきに「名古屋叢書」および「同・続編」合計45巻・別巻（総目録・索引）3巻を公けにしたが、今回さらにその「三編」を発刊するにあたり、記念のために開いたのが、この「尾張史料展」である。「名古屋叢書」は、いずれも尾張に関する基本的古文獻のうち、未刊あるいは絶版となって入手しにくいものを集め、校訂を加え、解説を付けて翻刻したもので、「三編」は別記の通り、20巻・別巻（総目録・索引）1巻を予定しているから、前二者とあわせれば、65巻・別巻4巻、地方史料集としては屈指の巨編となる。収録された史料は、本文庫の蔵書以外にも、名古屋市鶴舞中央図書館・徳川林政史研究所（財団法人徳川黎明会）、そのほか、篤志家や神宮文庫・刈谷図書館（村上文庫）・早稲田大学図書館などから提供を受けた。その多くは、編著者の自筆本もしくは原刊本で、史料的高いものばかりである。

さて、「尾張史料展」の構成は別記の通り二部に分け、第一部では、「三編」もふくめて「叢書」収録の尾張史料のうち55種を、第二部では、別に尾張文人の編著50種を選んで分類し、ほぼ年代順に陳列した。いずれも、一、二の例外を除けば、すべて本文庫の蔵書である。「叢書」の収録書目は、全巻を通じておよそ200種にのぼるので、第一部の方はその四分の一程度にすぎず、また、江戸時代300年に及ぶ尾張文人の著作は、和・漢・洋にわたってほとんど無尽蔵の観を呈しており、第二部に出品した程度では、いわゆる“九牛の一毛”にしかなかったらず、すでに影印または翻刻されたものも多いが、今回はできるだけ自筆本・原刊本ないし、それらに近い諸本を展示するように心がけた。これらによって、近世における尾張文化の隆昌の一端をご理解いただければ、望外の幸いである。

「名古屋叢書三編」のあらまし

〈概要〉 名古屋を中心とする尾張地方に関する基本的な古文献史料で、未刊のもの、もしくは入手困難なものを中心に、解説を付して翻刻収録。

〈巻数〉 20巻・付1巻（予定）

〈刊行期間〉 昭和55年～63年度（予定）

1年に2～3巻を刊行。

〈体裁・規格〉 A5判 平均500ページ（本文9ポ2段組）クロース装・ケース入

〈出版部数・頒価〉 800部（予定） 3,000円（予定）

〈収録書目〉

第1巻 〔尾州家系譜集〕「御系譜」等。

第2巻 〔尾張分限帳〕 ① 各種分限帳の集成。

第3巻 〔 同 〕 ②

第4巻 士林派洞続編 松平君山編

第5巻 尾藩世記 阿部直輔編

第6巻 金明録（猿猴庵日記） 高力種信著

第7巻 〔横井也有作品集〕 未刊のものを中心に。

第8巻 張州年中行事抄・尾張童遊集・尾張俗諺
（第2回配本予定・芥子川律治編）

第9巻 〔尾張方言集〕 宮訛言葉の掃溜・尾張方言
（稿本）・浪越方言集・水かはり・雅語訳解
・俗語弁

第10巻 天保会記 ① 深田正韶（香実）著

第11巻 同 ②

第12巻 ^{むぐら しずく}（葎の滴）^{ざっし}諸家雑談・家事雑識 細野要斎著
（第1回配本、頒布中。杉浦豊治編）

第13巻 青窓紀聞 ① 水野正信著

第14巻 同 ②

第15巻 同 ③

第16巻 白華隨筆 天野信景著（予定）

第17巻 蓬州旧勝録 ① 鈴木作助編（ 〃 ）

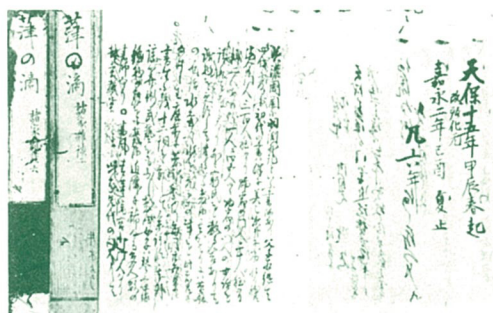
第18巻 同 ② （ 〃 ）

第19巻 同 ③ （ 〃 ）

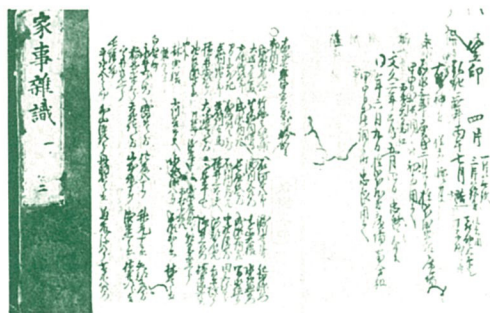
第20巻 〔本草関係資料集〕 物品識名・同拾遺・泰西
本草名疏・木曾採薬記・本草会物品目録

付 巻 総目録・索引

〔 〕は仮題



葎の滴 諸家雑談



家事雑識

〈監修〉

市橋 鐸 名古屋市文化財調査委員
佐々木 隆美 椋山女学園大学教授
所 三男 徳川林政史研究所名誉所長

〈編集委員〉

芥子川 律治 名古屋市文化財調査委員
小島 広次 市立女子短期大学教授
杉浦 豊治 金城学院大学教授
野田 千平 同
林 董一 愛知学院大学教授

出品目録（第一部）

I. 「名古屋叢書」（正編）収録資料

1. 君戒（御宝訓） 徳川義直 江戸中期写 1軸
2. 初学文宗 " 江戸初期写 1冊
3. 円覚院様御伝十五箇条
徳川吉通述・近松茂矩編
明和元年写（編者自筆本） 1冊
付. 同 輯録来由
近松茂矩 明和元年写（自筆本） 1冊
4. 温知政要 徳川宗春 享保年間刊 1冊
5. 人見弥右衛門上書
人見泰（環邑） 安永7年写 1冊
6. （新刻）古事記述言
稲葉通邦 寛政9年写（自筆本） 1冊
7. 〔蟹養斎の著作三種〕
「諸生規矩」「諸生階級」「読書路径」
（中村得斎編「道学資講」巻1、3に収録）
8. 聖堂記（明倫堂始原） 江戸末期写 1冊
9. 寛延記草 中村蕃政（習斎）
（「道学資講」巻222に収録）
10. 尾張国御法度之古記 （御国諸侍御法度之留）
写 1冊
11. 尾州御代々御条目 写 1冊
12. （密書）尾府刑法規則 昭和12年写 1冊
13. 尾張諸臣十二格之事 嘉永7年写 1冊
14. 金府紀較 江戸末期写（奥村得義本） 2冊
15. 編年大略（慶長5～明和8年）
写（水野正信本） 3巻・付1巻 4冊
16. 御日記頭書（慶長5～嘉永2年） 江戸末期写 9冊
17. 三世紀事略 写 7冊・訂正案1冊
18. 御国法検地古伝 児島師亮 安永4年写（自筆本）
（「天保会記」38に収録）
19. 税賦参定指南 樋口好古 写 2巻（巻下欠）1冊
20. （国秘録）御勝手改革一条 写 1冊
21. 尾陽産物志 江戸中期写（題簽松平君山筆） 11冊
22. 御国産吟味之留 江戸末期写 1冊
23. 遠西觀象図説 吉雄常三（南皐）
文政6年序刊本 3巻3冊
24. 万宝叢書 硝石篇 伊藤圭介訳 上田仲敏校
嘉永7年刊 3巻・付1巻 3冊
25. 本草正謄 松平秀雲（君山）安永5年刊 岡田啓手識
12巻6冊
26. 本草正々謄 山岡恭安 安永7年刊 1冊
27. 女楽巻 料理蝶斎 木芽上人田楽序 写（稿本）1冊
28. 庚子道の記（武女道の記） 武女 写 1冊
29. （落噺）恵方棚 小野秋津作 玉僊画 刊 1冊
30. （敬公）夢想之倭漢 徳川義直等撰
江戸中期写 1冊

31. 寛永跳記 写（江戸） 1冊
32. 尾州家御船歌 大正5年写 3冊
33. 風流甚目寺参詣の記（能知亭折助噺）
高力種信 文政6年写 1冊
34. 正事記 津田信房 写 3巻3冊
35. 紅葉集 写（江戸） 2冊
36. 柿の落葉（紅葉集補遺） 写（江戸） 1冊
37. 昔 咄 近松茂矩 元文3年写（自筆本）
7巻7冊
38. 趣庭雑話 江戸末期写 1冊
39. 芳躅集 松友庵編 江戸末期写（自筆本） 3巻3冊

II. 「名古屋叢書続編」収録資料

40. 地方古義 重松篤太夫 写 5巻5冊
41. 尾張徇行記 （愛智・中島・春日井郡の一部）
樋口好古 写 3冊
42. 金城温古録 奥村徳義 江戸末期写
65巻・付1巻 66冊
43. 士林派澗 松平君山等編
江戸末期写（寺社奉行所本） 125冊

III. 「名古屋叢書三編」収録（予定）資料

44. （葎の滴）諸家雑談 細野要斎 写 6冊
45. 家事雑識 " 写 2冊
46. 尾張童遊集 小寺玉晃著 若山善三郎編
昭和9年刊（名古屋温故会） 1冊
47. 尾張俗諺 嘉永4年写 小田切春江田蔵 1冊
48. 御系譜（原本） 江戸末期写 1冊
49. 〔分限帳 三種〕
清須分限帳 写 1冊
尾州家分限帳（明和・安永・天明） 写 2冊
仮名分名寄（文政～元治） 写 3冊
50. 士林派澗続編 松平君山等編 写
25冊・目1冊・付1冊
51. 金明録（猿猴庵日記） 高力種信著 11冊
（中村新三氏蔵）
52. 天保会記 深田正詔著 江戸末期写（稿本）
16冊（有欠）
53. 青窓紀聞 水野正信編 江戸末期写 204冊（有欠）
54. 物品識名 水谷豊文 文化6年刊 1冊
55. 本草会物品目録 菅百社編 天保6年刊 1冊

出品目録（第二部）

I. 国 学

〈神学〉

1. 天御中主尊造化人体論
河村秀頼 延享4年写(自筆本) 1冊

〈歴史・雑史〉

2. 類聚日本紀 徳川義直編 寛政年間写(稲葉通邦校并筆) 170巻・系図4巻 70冊
3. 寛永御即位記略 堀 正意(杏庵)
寛永年間写(自筆本)「御本」印記 図2枚 1冊
4. 神武紀蒙訓抄 吉見幸和 寛延4年写(自筆本) 2冊
5. 昇平日新録 家田虎(大峰) 文化4年写(自筆本)
14巻・拾遺2巻 7冊
6. 癸酉乾山行 近松茂矩 写 1冊
7. 天明老々記 河村秀頼 写(江戸) 1冊

〈文学・語学〉

8. 明公御詠 徳川宗睦 文化年間写(徳川維子筆) 14冊
9. 人見泰国歌及文 人見瑤邑 江戸中期写(自筆本) 3冊
10. 野村秋足歌集 野村秋足・写(自筆本) 11冊
11. 石井垂穂日記 石井垂穂 江戸末期写(自筆本) 1冊
12. (校訂)伊勢物語図会 市岡猛彦 文政8年刊 3冊
13. 源氏物語遠鏡 栗田直政著 鈴木辰閣
刊(天保11年序) 2巻2冊
14. 足利絹手染紫 笠亭仙果等著 一陽斎豊国等画
刊(嘉永～安政)
13編(6～18編) 13冊
15. 言語四種論 鈴木辰著 柳河春三校
刊〔柳園叢書・巻1に収録〕

II. 漢 学

〈儒 学〉

16. 論語群疑考 家田虎(大峰) 文化11年刊 10巻10冊
17. 道学資講 中村政永(得齋)編 江戸末期写
400巻(有欠) 364冊

〈漢 詩 文〉

18. 杏陰集 堀 正意(杏庵)
昭和21年写(陽明文庫本影写) 21巻3冊
19. 南窓日課 松平秀雲(君山) 江戸中期写(自筆本) 1冊
20. 〔奥田桐園遺稿〕 奥田鳳文 江戸末期写(自筆本) 10冊
21. 大峰先生集 家田虎(大峰) 享和3年刊 6巻6冊
22. 〔沢田眉山叢書〕 沢田師厚 江戸末期写(自筆本) 25冊

III. 洋 学

23. 洋字篇 伊藤圭介著 西村良三(柳河春三)等校
天保12年刊 尾張洋学館旧蔵 1冊
24. 西洋砲術便覧 上田仲敏・柳河春三
嘉永6年刊 2巻2冊

IV. 地 誌

25. 張州府志 松平秀雲(君山)・千村伯濟
江戸中期写 30巻・図1巻 26冊
26. 張州雑志 内藤正参(東甫)
江戸中期写(自筆本) 100冊
27. 尾張志 深田正韶等編 天保15年写(原本)
60巻・目1巻 61冊・付図14枚
28. 師崎日記 人見泰(瑤邑) 写 1冊
29. 友千鳥 永室亮長 江戸末期写 1冊

V. 政 治

30. 治邦要旨 付、事君提綱
布施維安(蟹養齋) 元文元年写(自筆稿本)
3巻・付1巻 3冊
31. 人主之職 石川安貞(香山) 写(自筆本) 1冊
32. 治具十三条 奥田永業(鶯谷)
江戸末期写(自筆稿本) 1冊

VI. 随筆・雑纂

33. 月の友 松平義行 写(江戸) 1冊
34. 塩 尻 天野信景 江戸末期写 129巻(有欠) 67冊
35. 春のながめ 松平秀雲(君山) 江戸中期写(自筆本) 10冊
36. 秋の寝覚 同 同(同) 50冊
37. 代奕雑抄 石川安貞(香山)
寛政13年刊 2巻2冊
38. 護花閑随筆 堀田方田(恒山) 写(江戸) 25巻25冊
39. 諸国見聞雑割 (「葎の滴」の内)
細野忠陳(要齋) 写 9冊
40. 代睡漫抄 泥江亀寿(平出順益)
写(自筆本) 15冊
41. 想山著聞奇集 三好想山 嘉永3年刊 5巻5冊
42. 続学舎叢書 小寺玉晃 写(自筆本) 26巻(有欠) 22冊
43. 青窓漫筆 水野正信 江戸末期写 15冊
44. 青牖叢書 同 同 112巻(有欠) 103冊
45. 資治雑笈 同 写・刊、6輯 94冊(有欠)

VII. そ の 他

46. 軍書合鑑 徳川義直 江戸中期写(天野信景手跋) 1冊
○
47. 咄覚集 松本見休 宝暦3年写 1冊
48. 茶窓問話 近松茂矩 享和4年刊 1冊
○
49. 開帳談話 高力種信 写(自筆本) 1冊
○
50. 諦忍和尚語録 釈諦忍 寛延2年刊 1冊

尾張史料編著者名略注 (五十音順)

天野信景 1661~1733 尾藩士、鉄砲頭・寄合。国学・儒学者。名古屋考証学の祖。「塩尻」は代表作。

石井垂穂 1769~1840 尾藩士、書院番組頭。名は孝政。狂歌に長じ、唐衣橘洲に学ぶ。

石川安貞(香山) 1736~1810 明倫堂督学。儒学者(小出慎斎門)。代表作は「資治通鑑証補」(294巻)

市岡猛彦 1778~1827 尾藩士、町方吟味役並。国学者(本居宣長門)。

伊藤圭介 1803~1901 蘭方医・植物学者(水谷豊文・シーボルト門)。わが国の理学博士第1号。尾張洋学館創設者の一人。

稲葉通邦 1744~1801 尾藩士、国方吟味役。国学者(中村習齋・本居宣長門)。

上田仲敏 1809~63 尾藩士、本丸詰物頭。国学・蘭学者。自邸(三の丸)に尾張洋学館を創設。

岡田啓(文園) 1780~1860 尾藩士。国学者。蔵書家(一葉文庫)。代表作「尾張名所図会」

奥田永業(鶯谷) 1760~1830 明倫堂教授。儒学者。詩文集を多く著わす。

奥田鳳文(桐園) 1791~1852 儒学者(河村乾堂門)。鶯谷の長子。

奥村徳(得)義 1793~1862 尾藩士、御城掃除中間頭。ほかに「松濤棹筆」85巻を著わす。

小田切春江 1810~88 名は忠近。尾藩士、書院番。画家(高力種信・森高雅門)。

小野秋津 1792~1855 後の本居内遠。国学者・戯作者。号木綿垣・榛園・秋津。名古屋書肆万卷堂(菱屋久八郎)の子。

蟹養斎(布施維安) 1705~78 儒学者(三宅尚齋門)。阿波(或は安芸)の人。幼時、尾張に移住。巾下学問所(明倫堂の前身)を開設。

河村秀頼 1718~83 尾藩士、町奉行・書物奉行。国学者(吉見幸和門)。

栗田直政 1804~91 海東郡砂子村の神官。国学者(鈴木眼門)。

高力種信(猿猴庵) 1756~1831 尾藩士、馬廻組。画家。代表作「猿猴庵日記」「尾張名陽図会」

児島師亮(幸左衛門) 江戸中期の人。尾藩士、地方目付役。

小寺玉晁 1800~78 名は広路。尾藩士(大道寺家の臣)。文芸家・画家(森高雅門)。代表作「尾陽戲場事始」

沢田師厚(眉山) 1798~1853 明倫堂教授。儒学者。書家(丹羽盤桓子門)。

重松篤太夫(忠兵衛)〔寛政頃〕 尾藩士、作事調役。

釈 諦忍 1705~86 号空華子。八事山興正寺(真言宗)の5世で中興の名僧。

嘗百社 伊藤圭介をはじめとする尾張本草学者の集り。

松友庵 江戸末期の人。尾藩士。本名・履歴など未詳。

鈴木 眼 1764~1837 号離屋。尾藩士、右筆。国学者(本居宣長門)・儒学者。明倫堂教授並。

武女(白拍子武女) 4代藩主吉通夫人の侍女。

近松彦之進(茂矩) 1696~1778 尾藩士、4代吉通の側近。兵学者・茶人。一全流開祖。

千村伯濟(廷美) ?~1754 号華不注山人。尾藩士。儒学者(松平君山門)。

冢田虎(大峰) 1745~1832 信州の人。儒学者。明倫堂督学として学風を改革。

津田信房(房勝?) 1629~1701 尾藩士、賄頭。

徳川義直 1600~50 徳川家康第9男。尾張初代藩主。好学・愛書の志深く、蓬左文庫の基礎を開く。代表作「類聚日本紀」174巻。源敬公。

徳川吉通 1689~1713 尾張4代藩主。円覚院。

徳川宗春 1696~1764 尾張7代藩主。章善院。自由主義的政策をとりいれ、名古屋城下の繁栄をはかったが、幕府の譴責をうけて失脚。

徳川宗睦 1733~99 尾張9代藩主。明公。

内藤正参(東甫) 1727~88 尾藩士、馬廻組。画家。横井也有らと親交。

中村厚斎 1712~79 名は政峰。尾藩士。儒学者(小出洞斎・蟹養斎門)。

中村習齋 1719~99 名は蕃政。厚斎の弟。尾藩士。儒学者(小出洞斎・蟹養斎門)。

中村直斎 1757~1839 厚斎の子。尾藩士、書物奉行。儒学者。

中村得斎 江戸末期の人。直斎の子。尾藩士、新番。崎門学派の著作「道学実講」400巻を集成。

野村秋足 1819~1902 尾藩士、馬廻組。国学者(鈴木眼・植松茂岳門)。明倫堂教授。

樋口好古 1750~1826 号知足齋。尾藩士、大代官。

人見泰(璣邑) 1729~97 号竹山。尾藩士、勘定奉行として農政を改革、また明倫堂の学則を制定。

氷室亮長 江戸中~末期の人。津島神社神官。

平出順益(泥江亀寿) 1809~61 尾藩医。蔵書家。

深田正韶(香実・豊坂翁) 1783~1850 尾藩士、明倫堂督学・書物奉行。儒学・国学者(中村習齋・高木玉鉞門)。

細野忠陳(要斎) 1811~78 尾藩士、馬廻組・明倫堂督学。儒学者(深田香実門)。代表作「葎の滴」

堀田方旧(恒山) 1710~91 号六林・護花閣等。尾藩士、小納戸・足輕頭。儒学者(松平君山門)。誹諧・狂歌に通じ、横井也有らと親交。

堀正意(杏庵) 1585~1642 近江(一説京都)の人。儒学者(藤原惺窩門)。林羅山・角倉素庵と同門。初め浅野氏、のち尾藩初代義直に仕える。

松平秀雲(君山) 1697~1783 堀杏庵の外曾孫。尾藩士、書物奉行。江戸中期の代表的な学者。系譜・地誌・詩文集・隨筆を多く残す。

松平義行 1656~1715 2代光友の次男。四谷家(高須家)初世。

松本見休 江戸中期の人。茶道家。尾藩に有楽流を伝授。

水谷豊文 1779~1833 号鈎致堂・有斐軒。尾藩士。本草学者。シーボルトと交わる。

水野正信 1805~69 尾藩士(大道寺家臣)。号睡蚕・郁李園。外国及び蝦夷関係資料等を集録。

三好想山? ~1850 尾藩士、右筆・江戸定詰。大師流の書道家(佐々木庸綱門)。

森高雅(玉僊) 1791~1864 名古屋鉄砲町生れ。画家。幕末の大和絵の大家。牧墨僊に浮世絵をも学ぶ。

柳河春三 1832~70 洋学(蘭・英・仏)者(伊藤圭介門)。名古屋大和町に生れ、神童と称される。開成所(東大の前身)頭取。新聞雑誌の創始者。

山岡綏安 江戸中期の人。号竹酔子。本草学者。のち尾張から伊勢に移住。

吉雄常三(南臯) 1787~1843 尾藩蘭方医。長崎の通辞(通訳)耕牛の孫。のち名古屋に移住。観象堂と号し、天文学・化学などにも精通。

吉見幸和 1673~1761 号恭軒。尾藩士。名古屋東照宮祠官。神学者(浅見絢斎・正親町公通門)。

笠亭仙果 1806~68 熱田生れ。氏は高橋。戯作者(柳亭種彦門)。

料理蝶斎 伝記不明。

若山善三郎 ?~1944 歴史家。名古屋温故会を中心人物。尾張史の調査・研究や、大須真福寺などの複製・刊行に尽力。(注…生没年の内、生年については、没年と享年から逆算して記したものもある)。

出版物一覽

名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録(S. 50年刊)	3,500円	日本の古典<蓬左文庫図録>(S. 52年刊)	200円
名古屋市蓬左文庫国書分類目録(S. 51年刊)	4,000円	蓬左文庫・源氏物語図録(S. 53年刊)	300円
名古屋市蓬左文庫古文書古絵図目録(S. 51年刊)	2,500円	蓬左文庫所蔵古地図複製(S. 55～56年刊)	
尾崎久弥コレクション目録第一～三集		No. 1 尾府名古屋図	1,800円
(S. 52～55年刊)	各 1,500円	No. 2 尾州名古屋御城下之図	1,800円
名古屋叢書(正編)索引・総目録(S. 53年刊)	2,000円	No. 3 名古屋図	1,800円
名古屋叢書続編 索引(S. 47年刊)	700円	No. 4 尾張八郡図	1,800円
名古屋叢書続編総目録(S. 44年刊)	400円	No. 5 (尾張志付図)尾張国	1,800円
善本解題図録第一～三集(S. 55年再版)	各 300円	名古屋叢書三編第12巻(S. 56年刊)	
蓬左文庫重要文化財図録(S. 52年刊)	200円	(葎の滴)諸家雑談・家事雑識	3,000円

★以上の出版物は、本文庫事務室において頒布しています。郵送希望の方は郵送料が必要ですので、お問い合わせ下さい。(ただし、古地図複製は郵送不可)

★本文庫所蔵古地図の精密な複製を作成し、希望者には頒布しています。

★「名古屋叢書三編」(20巻・付1巻予定)の第1回配本ができました。以後、年2～3巻を発行してゆく予定です。全巻ご希望の方は、第1回配本購入の際に、お申し出ください。

利用ご案内

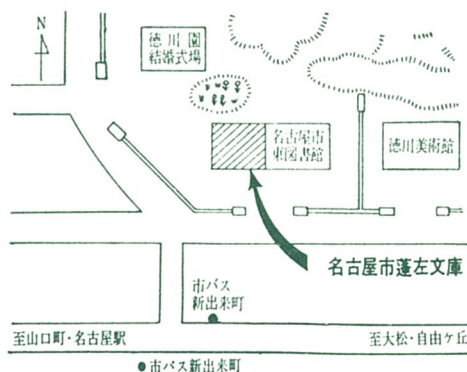
- ▷開館時間 午前9時30分～午後5時
- ▷休館日 毎月曜日・第3金曜日(館内整理日)
祝日(日曜に重なる場合は日曜開館、月・火休館)
(月曜 〃 月・火休館)
- ▷閲覧 館内に限り、館外貸し出しはいたしません
(閲覧料) 普通図書 無料
重要図書 有料(1部100円)
- ▷展示 常時蔵書の一部を展示
(特別展を除き入場無料)
- ▷複写サービス 普通図書のうち保存上影響のないものについて複写サービスを行ないます。その他、マイクロフィルムの利用、写真撮影等の申請を受付けますので、ご来庫の上、ご相談下さい。

名古屋市蓬左文庫

〒461 名古屋市東区徳川町2-27

☎(052)935-2173

(市バス 新出来町 北 100m)
山口町 東 500m)



「蓬左」第6号 ☆昭和56年4月1日発行 ☆編集・発行：名古屋市蓬左文庫(東区徳川町2-27)
☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷：大同印刷(東区泉2-3-18)